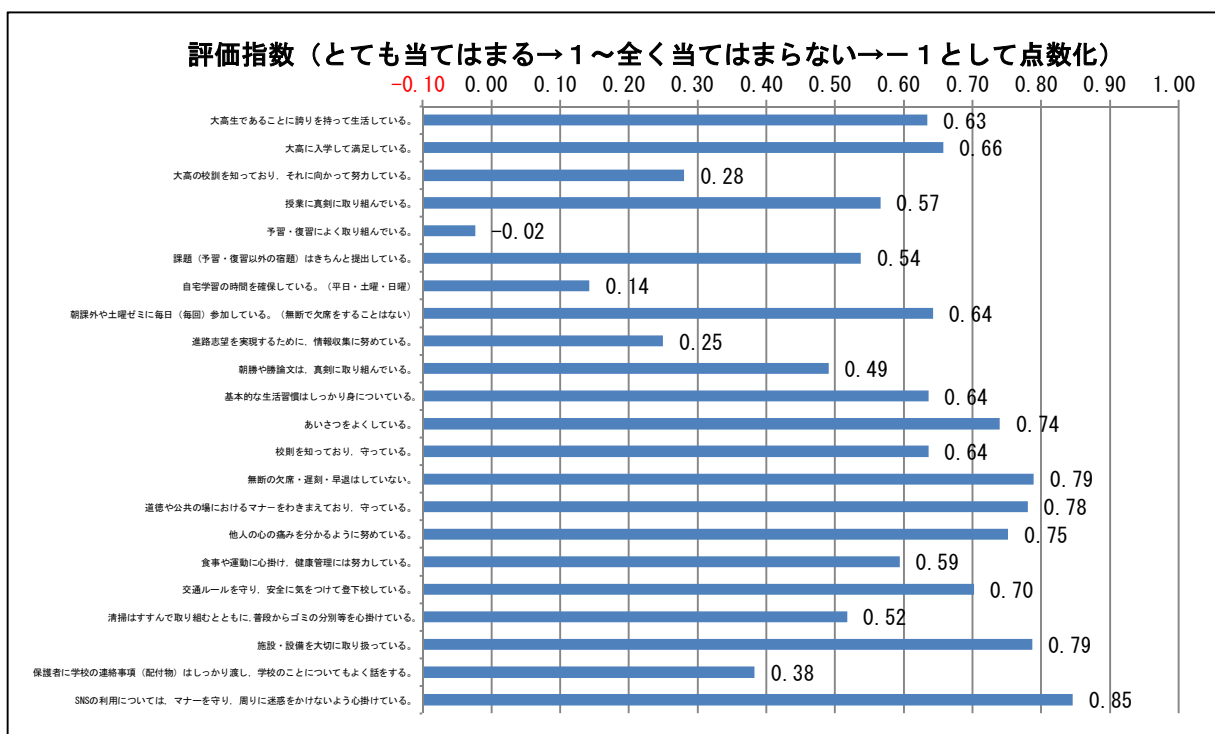


## 平成29年度 第2回 生徒（1年生） 学校生活に関する自己評価 集計結果



### ● 自己評価の高かった項目

第1位 → SNSの利用については、マナーを守り、周りに迷惑をかけないように心掛けている。

第2位 → 無断の欠席・遅刻・早退はしていない。

第3位 → 施設・設備を大切に取扱っている。

### ● 自己評価の低かった項目

第1位 → 予習・復習によく取り組んでいる。

第2位 → 自宅学習の時間を確保している。（平日・土曜・日曜）

第3位 → 進路志望を実現するために、情報収集に努めている。

### ● 「あなたが現在最も改善しなければならないと思うものは何ですか？」に対して

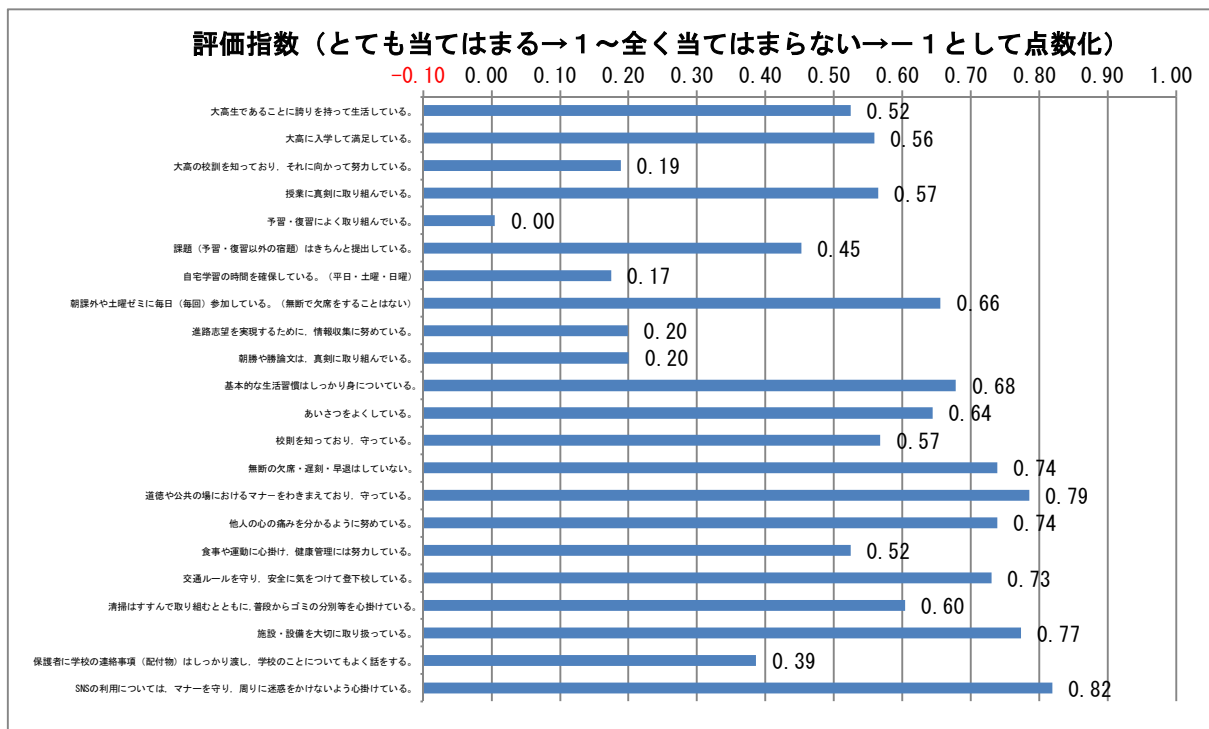
「家庭学習」を答えている生徒が50%、「余暇の使い方」を答えている生徒が25%と多い。

### ● 分 析

中間評価と比較し、「自宅学習の時間の確保」の項目で大きく数値を落としている

(0.40→0.14)。様々なことが原因となり、時間の確保ができていないのであろう。ただ、改善点でも半数の生徒が「家庭学習」挙げており、その大切さは認識しているようである。

## 平成29年度 第2回 生徒（2年生） 学校生活に関する自己評価 集計結果



### ● 自己評価の高かった項目

第1位 → SNSの利用については、マナーを守り、周りに迷惑をかけないように心掛けている。

第2位 → 道徳や公共の場におけるマナーをわきまえており、守っている。

第3位 → 施設・設備を大切に取扱っている。

### ● 自己評価の低かった項目

第1位 → 予習・復習によく取り組んでいる。

第2位 → 自宅学習の時間を確保している。（平日・土曜・日曜）

第3位 → 大高の校訓を知っており、それに向かって努力している。

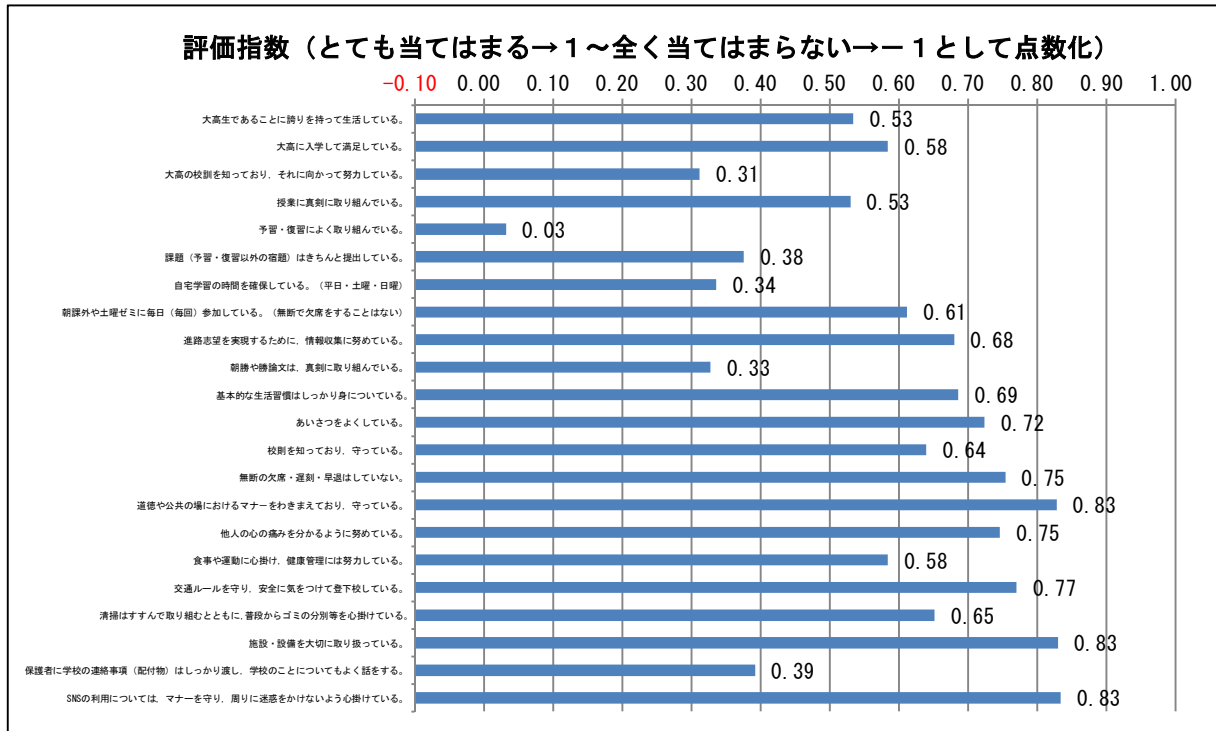
### ● 「あなたが現在最も改善しなければならないと思うものは何ですか？」に対して

「家庭学習」を答えている生徒が52%、「余暇の使い方」を答えている生徒が24%と多い。

### ● 分析

中間評価と同様の傾向が出ていた。「予習・復習への取組み（-0.10→0.00）」、「課題の取組み（0.35→0.45）」の項目で改善傾向が見られる。ただ、「朝活・勝論文への取組み」では数値を落としており（0.32→0.20）、その取組みの意義や姿勢について、再確認が必要かと思われる。

平成29年度 第2回 生徒（3年生） 学校生活に関する自己評価 集計結果



● 自己評価の高かった項目

- 第1位 → SNSの利用については、マナーを守り、周りに迷惑をかけないように心掛けている。
- 第2位 → 施設・設備を大切に扱っている。
- 第3位 → 道徳や公共の場におけるマナーをわきまえており、守っている。

● 自己評価の低かった項目

- 第1位 → 予習・復習によく取り組んでいる。
- 第2位 → 大高の校訓を知っており、それに向かって努力している。
- 第3位 → 朝勝や勝論文は、真剣に取り組んでいる。

● 「あなたが現在最も改善しなければならないと思うものは何ですか？」に対して

「家庭学習」を答えている生徒が34%、「余暇の使い方」を答えている生徒が29%、「生活習慣」を答えている生徒が22%と多い。

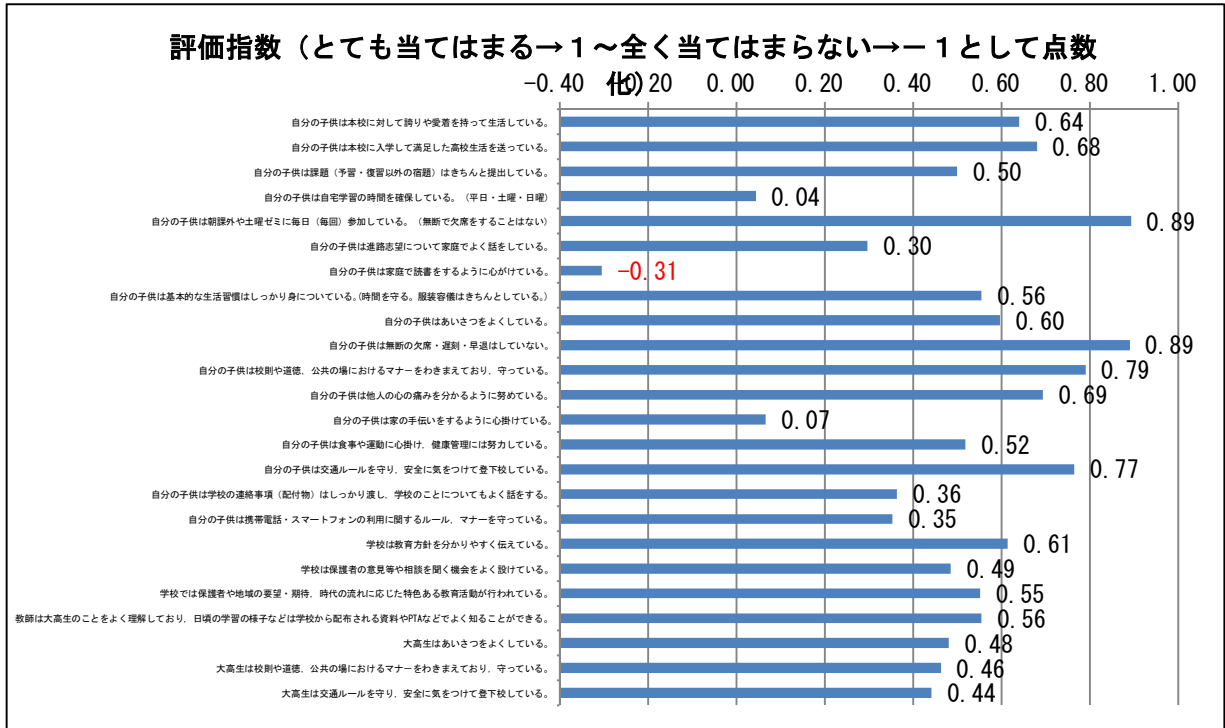
● 分析

中間評価と同様の傾向が出ていた。最後の改善を要するものについては「生活習慣」が増えている（10%→22%）。卒業後の進路先が決まっている生徒も出てきており、その生徒を中心に、内面的に学習から生活に意識が移りつつあるのだろう。

● 全学年をとおして

SNSの利用については自己評価が高い。学校での取組みが功を奏しているのであろう。自宅学習の少なさは生徒自身も感じており、改善をしていきたい意思も持っている。毎年の課題であるが、何らかの手立てが必要かと思われる。

平成29年度 第2回 保護者（1年生） 学校生活に関する評価 集計結果



● 評価の高かった項目

- 第1位 →自分の子供は朝課外や土曜ゼミに毎日（毎回）参加している。
- 第2位 →自分の子供は無断の欠席・遅刻・早退はしていない。
- 第3位 →自分の子供は校則や道徳、公共の場におけるマナーをわきまえており、守っている。

● 評価の低かった項目

- 第1位 →自分の子供は家庭で読書をするように心がけている。
- 第2位 →自分の子供は自宅学習の時間を確保している。（平日・土曜・日曜）
- 第3位 →自分の子供は家の手伝いをするように心掛けている。

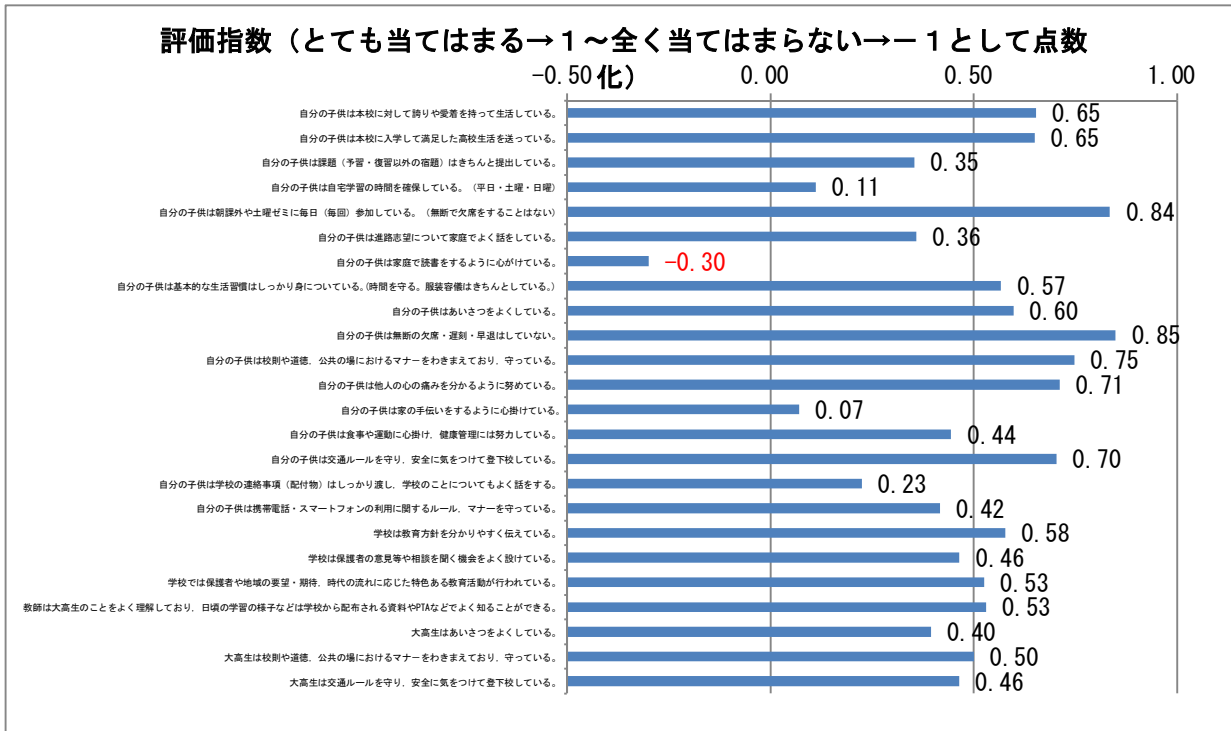
● 自由記述欄では、次のような御意見をいただきました。

- ・部活動の荷物が多すぎ自転車移動の際に事故にならないか心配です。対策をお願いしたいと思っています。
- ・行事・講演等もっと早々とプリントを配布して欲しい。出席したくても配布が遅く休みがとれない。
- ・寮生活をしているため、学校生活の言葉など子どもと意思疎通ができていないため分からない。
- ・自転車マナーが悪い。併走やイヤフォン着用。
- ・勉強とスポーツでメリハリがある印象。

● 分析

回答数136。中間評価と同様の傾向が出ているが、多くの項目で数値を落としている。特に、「自宅学習」については0.2ポイント（評価指数）落としており、生徒の意識の低下を感じているようである。

平成29年度 第2回 保護者（2年生） 学校生活に関する評価 集計結果



● 評価の高かった項目

- 第1位 →自分の子供は無断の欠席・遅刻・早退はしていない。
- 第2位 →自分の子供は朝課外や土曜ゼミに毎日（毎回）参加している。
- 第3位 →自分の子供は校則や道徳、公共の場におけるマナーをわかまえており、守っている。

● 評価の低かった項目

- 第1位 →自分の子供は家庭で読書をするように心がけている。
- 第2位 →自分の子供は家の手伝いをするように心掛けている。
- 第3位 →自分の子供は自宅学習の時間を確保している。（平日・土曜・日曜）

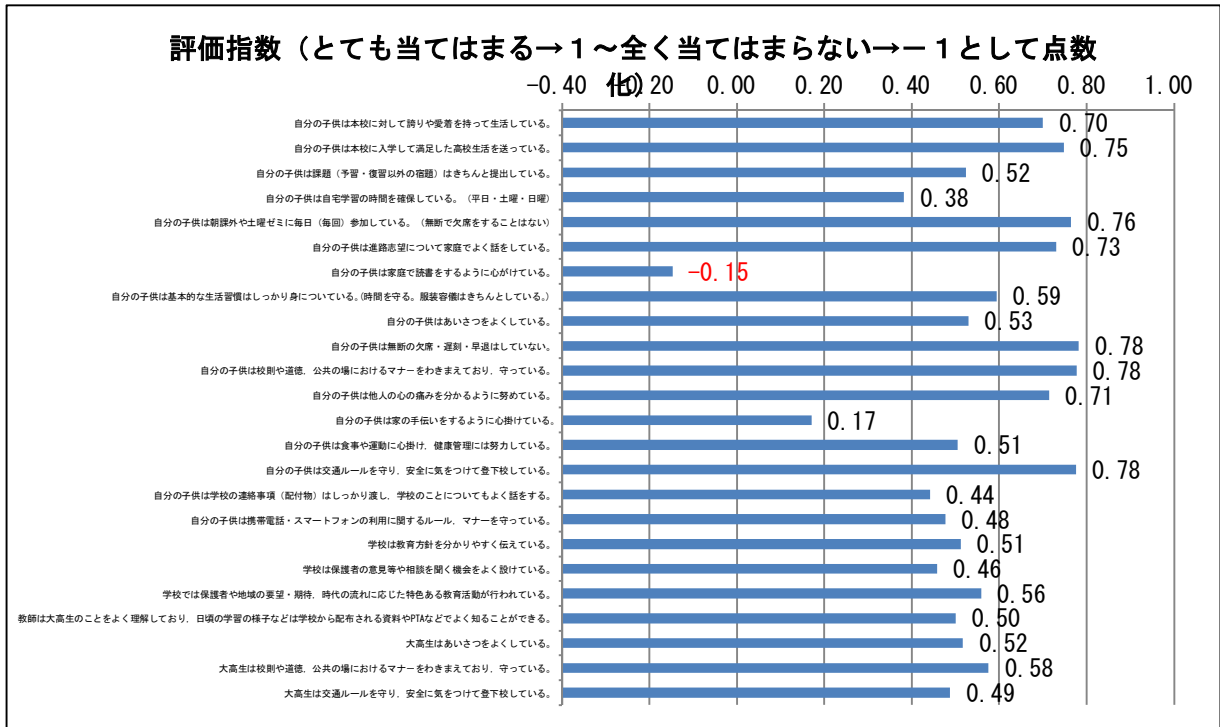
● 自由記述欄では、次のような御意見をいただきました。

- ・いつも学校側は生徒の事を思い指導して下さい、本当にありがたいのですが、子ども達が真剣に受け止めておらず、残念です。親も力不足なのはよくわかっていますが・・・。
- ・進級にあたり、教科の選択に関しては、できる限り生徒の気持ちを尊重していただけたらと思います。
- ・意味がないのではないかと感じてしまう宿題（難しすぎる、指定された作業が多い、訂正にも相当時間がかかる、解説もない）があり、部活をしていると本当に大変で、部活をしていない子にとっても、相当な負担になっていると思います。睡眠不足で健康面も心配です。
- ・時間に余裕がないのか、自転車のルールをもう一度徹底すべきかと思ひます。
- ・部活動の練習が土日と1日練習で休みがない。その他の時間も大事だと思うので、休みも作ってほしい。
- ・少々の雨でも車で来る生徒が多い。
- ・挨拶が全くできていない。
- ・自転車の飛び出しが多いので事故につながらないか心配です

● 分析

回答数180。中間評価と同様の傾向が出ている。「課題の提出」については、0.16ポイント（評価指数）を落としている。保護者が我が子の状況を把握してくださっていることの裏返しともとれるが、この課題をどう改善していくかを検討していかなければならない。

平成29年度 第2回 保護者（3年生） 学校生活に関する評価 集計結果



● 評価の高かった項目

- 第1位 →自分の子供は無断の欠席・遅刻・早退はしていない。
- 第2位 →自分の子供は校則や道徳、公共の場におけるマナーをわきまえており、守っている。
- 第3位 →自分の子供は交通ルールを守り、安全に気をつけて登下校している。

● 評価の低かった項目

- 第1位 →自分の子供は家庭で読書をするように心がけている。
- 第2位 →自分の子供は家の手伝いをするように心掛けている。
- 第3位 →自分の子供は自宅学習の時間を確保している。（平日・土曜・日曜）

● 自由記述欄では、次のような御意見をいただきました。

- ・特になし

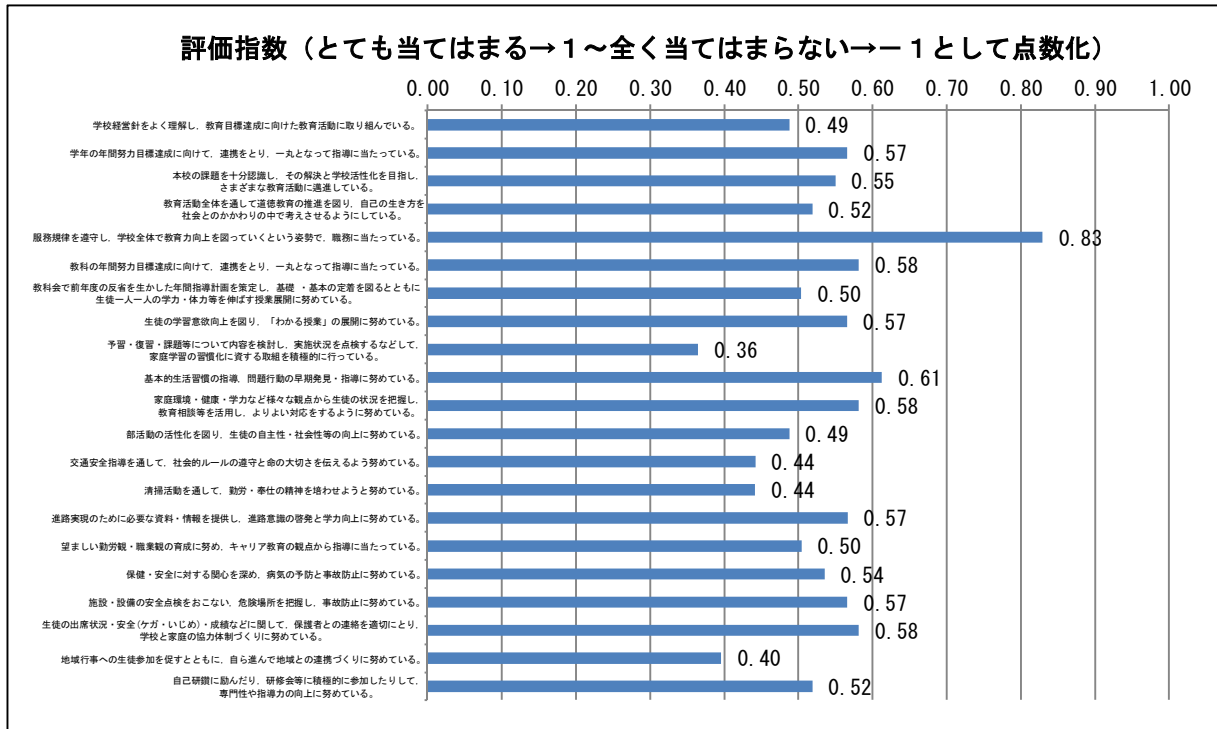
● 分 析

回答数85。中間評価と大きな変化はない。「自宅学習」に関する評価は上がっているが、その反面、「課外への出席」に関しては評価が下がっている。アンケートを取った時期も要因と考えられる。

● 全学年をとおして

- ・「自宅学習」や「読書習慣」、「家庭での手伝い」など自宅での生活において評価が下がっている。部活動などもあり、家庭で過ごす時間は限られており、どのようにして時間をやり繰りしていくのかを学校や家庭でも考えていかなければならない。
- ・学校や大高生の生活においては概ね良く捉えて頂いている。ただその中で、交通マナーに関する意見を一部ではあるが、いただいているのも事実である。生徒が被害者にも加害者にもならないよう家庭と連携してマナーの向上に努めていかなければならない。

# 平成29年度 第2回 職員 自己評価 集計結果



## ● 自己評価の高かった項目

- 第1位 → 服務規律を遵守し、学校全体で教育力向上を図っていくという姿勢で、職務に当たっている。
- 第2位 → 基本的な生活習慣の指導、問題行動の早期発見・指導に努めている。
- 第3位 → 家庭環境・健康・学力など様々な観点から生徒の状況を把握し、教育相談等を活用し、よりよい対応をするように努めている。

## ● 自己評価の低かった項目

- 第1位 → 予習・復習・課題等について内容を検討し、実施状況を点検するなどして、家庭学習の習慣化に資する取組を積極的に行っている。
- 第2位 → 地域行事への生徒参加を促すとともに、自ら進んで地域との連携づくりに努めている。
- 第3位 → 清掃活動を通して、勤労・奉仕の精神を培わせよう努めている。

## ● 学校に対する評価・要望など

特になし。

## ● 分析

- ・ 第1位の「服務規律を遵守し、…」は毎回1位だが、前々回0.67、前回0.77、今回0.83と徐々に数値が増加している。
- ・ 第2位、3位は、ともに前回同率6位であった。また、「生徒の出席状況・安全ケガ・いじめ…」が前回7位から、今回同率第3位である。
- ・ 低い項目の第1位の「予習・復習・課題等…」は、前回低い方の第5位から、今回第1位になった。
- ・ 第3位の、「清掃活動を通して、…」が前回は第4位であった。
- ・ これらの状況から、服務規律の厳正確保については、ますます意識が向上しており、生徒指導面の意識も高まってきている。
- ・ 一方、学習指導と清掃活動など、取組の課題意識が現れてきている。今後の取組の方向性が明らかになった。